



JWU 子育てサイエンス・ラボが発行するニュースレター「ゆりのき」は子育てにまつわる様々なトピックやお気軽に参加できる「子育てサイエンス・カフェ」のご案内を掲載しています。以前の「ゆりのき」も[公式 HP](#)で閲覧できます

=====**第 17 回子育てサイエンス・カフェ報告 (2 月 10 日実施)**=====

「子ども消費者の安全を考える～子どもは体の小さな大人でない～」

「子ども消費者の安全を考える～子どもは体の小さな大人でない」と題してお話ししました。



まず、子どもと言ってもその定義は多様です。発達段階や政策の趣旨によって表記、年齢範囲は異なります。未成年者、少年、児童、小児、幼児、乳児などの概念がありますし、民法改正で成人年齢が 18 歳に引き下げられた今日でも、ほとんどの自治体で成人式は名称を変えながらも 20 歳のままで、国民の意識では 20 歳で大人という考えが強いように思います。

子どもの安全といっても、その領域は多様であり、疾病予防、事故予防（交通事故、突発的事故、家庭内事故、製品事故）、大人の欲望からの保護、子ども社会でのいじめ等、親の虐待からの保護、加害者としての子どもの保護、子ども消費者としての保護、ネットユーザーとしての子どもの保護等があります。ここでは子ども消費者の保護、製品事故を中心に扱いました。

ある消費者教育ビデオ教材のフレーズは「子どもは誰でも明日の消費者」です。ゆえに消費者教育は社会への「パスポート」として重要であり、消費者庁は冊子「社会への扉」を作成し、全国の高校等に配布しています。消費者教育の内容は消費者庁の「消費者教育体系イメージマップ」のより、幼児期、小学生期、中学生期、高校生期、成人期の各発達段階ごとに、消費者市民社会の構築、商品等の安

全、生活の管理と契約、情報とメディアの大項目とのマトリクスで示しています。また、誰が消費者教育をするのかという問題もあり、家庭教育と学校教育の役割分担が議論になりますし、教員の資質（教職課程におけるカリキュラムを含む）の問題もあります。

日本であまり注目されていないものに子ども向けマーケティング・広告の有害性があります。例えば、2022 年 9 月に北海道の宿泊施設の駐車場で開かれたトヨタ関連販売会社による子ども向けイベントで、11 歳の女兒の運転するカートが観客に突っ込み、2 歳の男児が亡くなった痛ましい事件がありました。モータースポーツを子どもに体験させるという自動車販売会社の安易な『子ども向けマーケティング』に問題があります。

子どもの製品事故を考えた場合、子どもは体が小さな大人ではないということを認識する必要があります。子どもは大人が想像できないような行動をするため、ハインリッヒの原則は通用せず、重篤事故は 300 のヒヤリハットがなくても突然起きる場合があります。大人の事故と同じ視点では危険性を見逃す可能性があるのです。

しかし、安全・便利社会を作ると危険回避能力が育たないと言うジレンマもあります。また、遊具で事故が起きるとその利用中止や撤去が安易に行われたり、学外行事などで事故が起きると子ども向け活動が十分な検討もなく委縮する可能性もあります。

子どもの事故の特徴、子どもの成長発達の特徴を理解したうえでリスク分析が必要となります。

(家政学部被服学科 細川 幸一)



JWU 子育てサイエンス・ラボ

ラボ協力会員様のご協力による 研究・調査を実施いたしました！！

日本女子大学「JWU 子育てサイエンス・ラボ」では、「ラボ協力会員」を募集しており、子どもの発達（例：ことば、コミュニケーション、見る力の獲得）や子育てについて、種々の学術調査を行っています。この度、ラボ協力会員様のご協力による初めての研究、調査を終了し、4本の修士論文が完成いたしましたのでご紹介いたします。

調査にご参加いただきました JWU 子育てサイエンス・ラボ協力会員の皆様に、心より感謝申し上げます。本研究が子どもの発達分野における研究発展の一助となりましたら幸いです。

～研究成果について、学会発表を行いました～

佐多美咲・小泉直也・白井述・伊村知子（2023）. 空中像提示されたバーチャルペットに対する心的状態の推測 — 4～9 歳の子どもと大人の比較. 日本赤ちゃん学会第 23 回学術集会, 大阪, 2023 年 8 月（ポスター発表）

玄純美・麦谷綾子（2024）. 朝鮮学校に通う低学年児童の朝鮮語発達過程—知覚課題と発話課題を用いた検討. 日本発達心理学会第 35 回大会, 大阪, 2024 年 3 月（ポスター発表）

松尾彩加・麦谷綾子（2024）. 幼児の性別役割行動の形成過程—補完協調場面における椅子課題を用いた検討. 日本発達心理学会第 35 回大会, 大阪, 2024 年 3 月（ポスター発表）



ラボ協力会員に登録して、
お子様と大学の研究に参加しませんか？

- 調査ごとに、ご登録者の中から年齢等の調査条件に合う方にご連絡します。
調査内容・所要時間・謝金の有無等を担当者が説明し、参加をご了承いただいた場合は、ご都合に合わせて調査スケジュールを調整します。
- 「ラボ協力会員」詳細、ご登録方法は QR コードから。
ラボ協力会員募集中→下スクロール→「登録はこちら」



論文は次ページから→

「目の部位が表情認識に与える影響についての発達研究」

(2023 年度人間社会研究科心理学専攻修了予定 金森結子 指導教員：伊村知子)

表情から他者の感情を読み取る際には、目や口などの情報を総合的に考慮することが重要です。この能力は乳児期から児童期にかけて徐々に発達します。私たちは、子どもの表情認識の発達に焦点を当て、特に目の部分が表情認識に与える影響について調査しました。

調査では、5～7 歳児、8～10 歳児、成人の各 20 名ずつご参加いただき、図 1 のような表情写真について、興奮した—落ち着いた、快—不快、好き—嫌いの 3 つの印象を答えてもらいました。幸福条件と中性条件の違いを識別でき



幸福条件 目元中性
幸福条件 目元幸福
中性条件 中性条件

図 1 表情写真の例

るかを調べた上で、幸福条件と目元中性幸福条件（中性表情の目を幸福表情に合成）、中性条件と目元幸福中性条件（幸福表情の目を中性表情に合成）を比較し、目の部分の影響について分析しました。

その結果、子どもも成人も、幸福と中性の表情の違いは識別していましたが、目の部分の効果については、子どもと成人で違いがありました。成人では、幸福の目の部分を中性表情に合成すると、興奮した、不快、嫌いという評価が増加し、嫌悪の表情として認識していたのに対し、子どもではそのような評価は見られませんでした。目の部分の効果は、子どもより成人の方が大きいようです。ただし、子どもが目以外を手がかりに感情を理解している可能性もあるため、どのような情報から感情を読み取っているかについて、今後さらに調べる必要があります。最後に、本研究により、子どもが成人とは異なる見方をしている可能性について考える契機になれば幸いです。

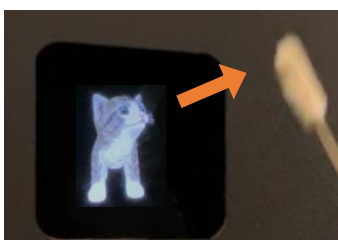
「空中像提示されたバーチャルペットに対する心的状態の推測—4～9 歳児と成人の比較—」

(2023 年度人間社会研究科心理学専攻修了予定 佐多美咲 指導教員：伊村知子)

本研究は、近年普及しつつあるバーチャルペットとの交流を楽しむゲームに注目し、4～9 歳児と成人がバーチャルペットに「心」を見出そうとするのか（以下、心的状態の推測とします）を検討しました。

調査には 4～9 歳児と成人、各 40 名ずつに参加していただき、映像を空間に投影可能な「空中像提示システム（提供：電気通信大学 小泉直也准教授 <https://www.media.lab.uec.ac.jp/>）」で猫型バーチャルペットを提示し、猫じゃらしで交流してもらいました。

交流の前後で、心理的尺度（考えることができるか等）、知覚的尺度（見ることができるか等）、生物学的尺度（成長するか等）、人工的尺度（故障するか等）の 4 尺度、8 項目の質問に回答してもらいました。



バーチャルペットと交流している様子

その結果、子ども、成人ともに交流を通して心的状態を高く推測することがわかりました。また、子どもは成人よりバーチャルペットを生物であり、心的状態をもつ対象として捉える傾向があることがわかりました。交流時、バーチャルペットが参加者の働きかけに応じて動く場合と無関連に動く場合で心的状態の推測に差が生じるのかも検討しましたが、そのような反応の仕方による影響は見られず、今後、どのようなバーチャルペットにより心的状態を推測するのかについて検討していく必要があると考えます。本研究が子どもにとっても身近になりつつあるバーチャルペットと私たちがどのように付き合っていくかを考える一つの材料として役に立つのであれば幸いです。

参考文献：Okanda, M., Taniguchi, K., Wang, Y., & Itakura, S. (2021). Preschoolers' and adults' animism tendencies toward a humanoid robot. *Computers in Human Behavior*, 118, 106688.

「朝鮮学校に通う低学年児童の朝鮮語習得過程 –知覚課題と発話課題を用いた検討–」

(2023 年度人間社会研究科心理学専攻修了予定 玄純美 指導教員：麦谷綾子)

本研究は、日本語を第一言語とし、朝鮮学校で朝鮮語を学習している児童の朝鮮語習得過程と言語能力について検討することを目的として行いました。英語の R と L のように日本語話者には聞き分けることが難しい音素が、朝鮮語にもいくつかあります。本研究では、このような朝鮮語の音素の聞き分けを、3つの音からひとつだけ仲間はずれのものを探すというクイズ形式で、調査しました(知覚課題：図1)。



図1. 知覚課題の様子

また、文字のない絵本を見て内容を自由に話してもらう発話課題(Story Telling Test)も行い、発話の量や語彙数について調査しました。これら2つの調査を、朝鮮初級学校に通う児童だけでなく、日本の小学校に通う児童も対象として行い、その結果を比較・分析しました。

調査の結果、朝鮮語音素の聞き分けは朝鮮学校と日本学校の間であまり差が見られませんでした。しかし、朝鮮幼稚園が併設されている学校では、一部の音素の聞き分けができる児童が多いという結果となりました。発話課題では、朝鮮学校児童が朝鮮語の語彙や付属語を習得する過程が示され、朝鮮語と日本語のコードスイッチングなどの特徴的な言語使用も見られました。また、朝鮮学校児童は朝鮮語(わからない言葉は日本語)で、日本学校児童は日本語で絵本の内容を話してもらいましたが、話された語彙の数に差は示されませんでした。本研究では、朝鮮学校に通う児童の朝鮮語能力と習得過程についてその一端が明らかとなりました。また、日本学校の児童と比較することで、朝鮮語と日本語のバイリンガルである児童の言語能力についてより詳細に検討することができました。

「補完協調場面における幼児期から児童期の性別役割行動の発達過程」

(2023 年度人間社会研究科心理学専攻修了予定 松尾彩加 指導教員：麦谷綾子)

子どもはいつ頃から、周囲が自分に求めている役割や期待に気づき、自分がやりたいことよりも、その期待に従うような行動をとるようになるのでしょうか？本研究では、特に「本当は○○がしたいけど、女の子(男の子)だから諦めた方がいいかも…」といった、自分や相手の性別情報が意思決定に与える影響について検討しました。

調査には4～8歳児96名にご参加いただき、椅子課題に取り組んでいただきました。この課題は「ある話し合いのための部屋で、テーブルを囲む複数の椅子のうち残り2席しか空いていない所に2人の人物が同時にやってきた」という場面設定を伝え、2人がどう座ると思うか人形を動かして配置してもらおうというものです。しかし、2つの椅子は同じものではなく、1つは他と同じシンプルな椅子、もう1つはモールやシールでデコレーションされた椅子になっています。また、やってくる2人の人物が自分以外の男女の場合(他者課題)、自分自身と同性の友達の場合(同性間自己課題)、自分自身と異性の友達の場合(異性間自己課題)の計3つのバージョンで調査を行いました。

その結果、自分以外の男女の配置を決める他者課題において、女子では5歳、男子では6歳といずれも就学前の段階で、男子の人形を豪華な椅子に配置する傾向が高くなることわかりました。一方、自分自身と同性(または異性)のお友達を対象とした自己課題ではこのような傾向はみられませんでした。



実際に提示した場面

これらの結果は、「男性は○○・女性は○○」といった社会に広がるジェンダー役割を子どもたちが比較的幼い頃から理解し、その理解にもとづいて他者の行動を予測していること、一方で、理解しているからといって必ずしも自分自身をその理解にもとづくルールに従わせるわけではないことを示しているのかもしれませんが、この研究が、子どもたち1人1人の個性や意思が十分に尊重される社会や教育の在り方を考えるための1つの材料となれば幸いです。

板橋区立中央図書館連携事業「歌って遊ぼうわらべ歌！」



歌って遊ぼうわらべ歌!

あなたの歌を
ポローニヤにとどけよう!

～サラボルサ児童図書館 姉妹図書館連携事業～

イタリア ポローニヤ市立サラボルサ児童図書館で進められている、わらべ歌収集プロジェクト「POLPA」に、あなたも参加してみませんか?

おしえてくれる歌は、いつもあなたが遊んでいるものでOK!
すてきな歌声を聞かせてください!

講師 日本女子大学 家政学部児童学科教授 根津 知佳子先生

音楽を通じたコミュニケーションを研究しています。わらべ歌には、世代や地域をこえた人と人を結びつける力があります。いつかポローニヤの友達と一緒にわらべ歌を歌いながら遊べるのいいですね。

お歌の和局さん おおせんべいやけたかな
おちやらかほい おさんちゃんの絵描き歌
おこめかこめ お節屋さんの落し物 など

場 所 中央図書館 1F図書館ホール
日 時 令和6年4月20日(土)
午後2時から3時30分まで

対象 定員 小学生・10名

申込方法 イベントホームページ
または 中央図書館1Fカウンター

ホームページはこちら▶▶▶
<https://www.city.itabashi.tokyo.ln/library/oshirase/2000793.html>

※ 本事業では記録・広報のため、録音・写真撮影をいたします。予めご了承の上お申込みください。 【問合せ】板橋区立中央図書館 TEL 03-6281-0291

第4回「歌って遊ぼうわらべ歌！」は4月20日(土)開催。
毎回、ご参加小学生に大好評。
お友達と歌を歌ったり、体を動かして楽しく遊びましょう!
ただいまお申込み受付中です!(先着10名)
下記板橋区のホームページからお申込みください。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/oshirase/2000793.html>



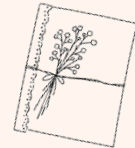
心理相談室のご案内

日本女子大学心理相談室では、地域の皆様の心の相談をお受けしています。

たとえば…



- 子どもの発達や成長が気になる
- 不登校、集団になじめない
- 子育ての悩み
- 対人関係、親子関係
- 気持ちを整理したい
- 自分の性格、将来・生き方
- 自分を見つめたい など



相談は完全予約制です。お電話でお申込みください。

日本女子大学 心理相談室 ☎ **03-5810-1507** (直通) 受付:月曜～土曜 9時～17時

https://llc.jwu.ac.jp/exl/psyc/nlc_psyc.htm

「JWU 子育てサイエンス・ラボ」を運営する社会連携教育センターの公式 SNS アカウントです。

